

第二十二回 帝國議會 貴族院議事速記録第十七號

明治三十九年三月二十二日(木曜日)

午前十時十分開議

議事日程 第十七號 明治三十九年三月二十二日

午前十時開議

- 第一 請願委員長報告
- 第二 立竹木ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四 紙幣類似證券取締法案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第六 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第八 官國幣社經費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 鹽專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 貯蓄銀行法案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十六 醫師法案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 蠶病豫防法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

貴族院議事速記録第十七號

明治三十九年三月二十二日

議長ノ報告

- 第二十一 宅地地價修正ノ請願 會
- 第二十二 軍人恩給法改正ノ請願 會
- 第二十三 新莊酒田間鐵道速成ノ請願 會
- 第二十四 奥羽南線鐵道分岐線急設ノ請願 會
- 第二十五 租稅整理ニ關スル請願 會
- 第二十六 北海道下清國重要港間命令定期航路開始ノ請願 會
- 第二十七 京都ヨリ舞鶴ニ達スル鐵道急設ノ請願 會
- 第二十八 不動産登記法改正ノ請願 會
- 第二十九 水道工事費國庫補助ノ請願 會
- 第三十 尋常小學校教員給料國庫補助ノ請願 會
- 第三十一 高等工業專門學校設立ノ請願 會
- 第三十二 小樽港露領浦鹽斯德港間直航命令定期船開始ノ請願 會
- 第三十三 商船學校増設ニ關スル請願 會
- 第三十四 渡良瀨川沿岸地方特別地價修正ノ請願 會
- 第三十五 織物消費稅改正ニ關スル請願 會
- 第三十六 官設鐵道鹿兒島線未成線急設ニ關スル請願 會
- 第三十七 鑛毒被害地地價修正ニ對シ再調査ノ請願 會
- 第三十八 益鳥保護ノ請願 會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ御報告ヲ致シマス

〔仙石書記官朗讀〕

去ル十九日議員男爵末松謙澄君辭職勅許アラセラレタルニ付一昨二十日其ノ補闕選舉ヲ奏請セリ

○侯爵黑田長成君 唯今ヨリ鐵道國有法案外一件ノ特別委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、退席イタシテ御差支アリマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 黑田侯爵ノ要求ニ付テ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマスカラ宜シウゴザイマス、他ノ報告ハ今日モ省略ヲ致シマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

去ル十九日本院ニ於テ否決シタル會計法中改正法律案ハ即日本案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ヘ通知セリ

同日議院法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵平松 時厚君 副委員長 三浦 安君

同日明治三十七年度豫備金支出ノ件外五件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵竹内 惟忠君 副委員長 谷森 眞男君

同日蠶病豫防法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵松平 康莊君 副委員長 千坂 高雅君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法案

官國幣社經費ニ關スル法律案

農工銀行補助法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

醫師法案

質屋取締法中改正法律案

一昨二十日鐵道國有法案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵黒田 長成君 副委員長 伯爵正親町 實正君

同日郡制廢止法律案外二件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 子爵鍋島 直彬君

同日醬油稅則中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵唐橋 在正君 副委員長 子爵前田 利定君

同日癩兵院法案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ

如シ

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 三浦 安君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、請願委員長報告

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 是ヨリ請願委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス、前會ニ報道ヲ致シマシテカラ以來、十四日ト二十日ト二回請願委員會ヲ開キマシテゴザイマス、此二回ノ會議ニ於キマシテ議了イタシマシタ件數ガ百十七件ゴザイマス、貴族院規則第三百四十四條ニ依リマシテ院議ニ付スベシト決定イタシタルモノガ五十四件ゴザリマス、院議ニ付スルヲ要セズト決定イタシタルモノガ四十七件ゴザイマス、尤モ此四十七件ノ中ニ法律ガ通過イタシマシタ爲ニ最早會議ニ掛ケル必要ガ無クナリマシタモノガ十四件ホド其四十七件ノ中ニゴザイマス、唯今審議中ノモノガ十六件ホド殘ッテ居リマスガ其十六件ノ中デ十五件ハ皆目下、衆議院若クハ當院ニ於キマシテ法律案ガ御審議中デアリマスル故ニ審議ヲ未了ト致シテ居ルノデアリマス、前會報告後ニ新ニ受領イタシマシタ請願ノ數ハ百三十三件ゴザイマス、之ヲ通數デ算シマスルト二百七通ゴザイマス、假ニ最初カラ請願ヲ受取リマシタ數ヲ通數イタシマスルト二百五十九件ゴザリマス、通數ニ致シマシテ六百六十六通ホドアリマス、文書表ヲ出シマシタコトハ二回出シテ居リマス、即チ第七回第八回ノ文書表ト都合二回出シテ居リマス、特別報告ヲ此際出ダシマシタコトガ三號ゴザイマス、其三號ノ中第四號ト第五號ニ載セテゴザイマスル特別報告ハ今日ノ日程ニ上ホッテ居リマスル會議ノ問題デゴザイマス、第六號ノ特別報告ハ議長ノ御手許マデ出シテゴザイマスル、此登壇ヲ致シマシタ序ニ豫メ諸君ニ御諮リヲ致シテ置キマスルコトガゴザイマスルガ、此日程ノ第二十二ニゴザイマスル軍人恩給法改正ノ請願ト云フモノハ日程ニハ上ホッテ居リマスルケレドモ丁度今日同ジヤウナ法案ガ議案トナッテ居リマスルカラシテ、又是モ前例ニ倣ヒマシテ此第二十二ハ暫ク今日ノ會議ヲ延バサレムコトヲ希望イタシマス、ソレカラ今一ツハ今日ノ日程第三十四ノ所デゴザイマス、此日程第三十四ノ所ニ參リマシテ本員ガ一ツノ動議ヲ起シマスル積リデゴザイマス、ソレハ日程ノ追加デゴザイマシテ丁度此前日程ニ上ボリマシタケレドモ延期ニナッテ居リ

マスル渡良瀬川沿岸地方特別地價修正ノ請願ト全ク同ジモノデゴザイマスルカラ、今日此第三十四ヲ議セラル、トキニ日程ヲ追加サレテ、ソコデ會議ニ掛ケラレタイト云フコトデゴザイマス、ドウゾ其日程追加ノ動議ヲ起シマシタラバ御賛成ヲ願ヒマス

○田中芳男君 委員長ニチヨット御尋ネイタシタウゴザイマス、唯今御報告ガアリマシタガ、唯今御話ノ中ニアリマスル此鐵道ノ請願ハ既ニ法律モ制定サレタヤウニ考ヘテ……

○議長(公爵德川家達君) 田中君ニ申上ゲマスガ、請願會議ノトキデハイケマセスカ

○田中芳男君 數件ニ涉ッテ居リマスルカラ併セテ御質問イタシタイノデ、其邊ハドウ御審議ニナッテ居リマスルヤ、矢張り是ハ政府ニ出スニ及バヌモノガ此鐵道ノ請願ノ中ニ載ッテ居ルヤウデゴザイマスガ如何デゴザイマス

○三宅秀君 ソレハ何所デゴザイマス、御指定ヲ願ヒマス、或ルベク日程ノ所ニ參リマシテ願ヒタウゴザイマス

○田中芳男君 ソレデモ宜シウゴザイマス、餘ホド此鐵道ノコトガ幾ツモアリマスカラ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二ニ移リマス、立竹木ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマス
〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕

立竹木ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十九年三月十九日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
農商務大臣 松岡 康毅
司法大臣 松田 正久

立竹木ニ關スル法律案

第一條 本法ニ於テ立竹木ト稱スルハ一筆ノ山林原野又ハ一筆ノ山林原野ノ一部分ニ生立スル竹木ニシテ其ノ所有者カ本法ニ依リ所有權保存ノ登記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立竹木ハ之ヲ一箇ノ不動産ト看做ス

第三條 土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ效力ハ立竹木ニ及ハス

第四條 立竹木ノ所有者ハ立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テモ當事者ノ定メタル施業方法ニ依リテ其ノ竹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第五條 立竹木ヲ目的トスル抵當權ハ前條ニ依ル採取ノ場合ヲ除クノ外其ノ竹木カ土地ヨリ分離シタル後ト雖其ノ竹木ニ付テ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條 立竹木ヲ目的トスル抵當權ハ森林法第二十六條ニ依リ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ抵當權者ハ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第七條 土地及立竹木カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立竹木ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ヲ設定シタルモノト看做ス但シ存續期間及地代ハ當事者ノ請求ニ因リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

第八條 民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權者カ其ノ所有スル立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 立竹木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立竹木ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ノ存續期間内ニ於テ其ノ土地ノ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テ存續期間ノ定ナキ地上權ニ付テハ當事者又ハ賃借人ノ請求ニ因リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所其ノ存續期間ヲ定ム

前條但書ノ規定ハ第一項ノ賃貸借ニ之ヲ準用ス

民法第六百四條及第六百十二條ノ規定ハ第二項ノ賃貸借ニ之ヲ適用セ

第十條 前條ノ規定ハ賃借人カ其ノ所有スル立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 立竹木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ所有者ガ竹木ノ運搬ノ爲土地ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ立竹木ノ競落人ハ當然其ノ權利ヲ行使スルコトヲ得

第十二條 各登記所ニ立竹木登記簿ヲ備フ

不動産登記法第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ登記簿ニ之ヲ準用ス

第十三條 立竹木登記簿ハ一箇ノ立竹木ニ付一用紙ヲ備フ

第十四條 立竹木登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區ニ分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各立竹木ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ立竹木ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ先取特權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十五條 登記ノ申請書ニハ不動産登記法第三十六條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 竹木カ一筆ノ山林原野ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ區域ノ方位及段別、其ノ區域ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

二 竹木ノ種類、林齡及數量

三 部分林ニ付テハ收益分收ノ部合

第十六條 所有權保存ノ登記ニ付テハ不動産登記法第六條及第七條ノ規定ヲ準用ス

第十七條 所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ保存登記ニ付土地ノ登記簿上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 既登記ノ土地ニ生立スル竹木ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ土地ノ登記用紙中土地又ハ地上權ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ立竹木登記簿ニ其ノ登記ヲ轉寫スヘシ但シ

其ノ登記ニ抵當權カ竹木ニ及ハサル旨ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラス」不動産登記法第八十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 既登記ノ土地ニ生立スル竹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ立竹木ノ登記番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ立竹木ノ區分ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ立竹木ノ存スル土地ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

立竹木ノ登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ前項ニ依リテ記載シタル登記番號ヲ朱抹シ登記官吏捺印スヘシ

第二十條 立竹木ノ分合若ハ滅失アリタルトキ又ハ第十六條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ立竹木ノ存スル土地ノ地目、字、番號又ハ段別ニ變更アリタルトキ亦同シ

不動産登記法第九十二條乃至第九十四條、第九十六條及第九十八條乃至第一百條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 立竹木ヲ目的トスル抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ不動産登記法第十七條ニ掲ケタル事項ノ外施業方法ヲ記載スヘシ但シ地方ノ慣習ニ依リ施業スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第二十二條 先取特權又ハ抵當權ノ目的ト爲リタル立竹木ノ所有者カ施業方法ニ違反シテ其ノ竹木ヲ傷害シ又ハ傷害セシメタルトキハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處スルヲ圖ルノ目的ヲ以テ其ノ竹木ヲ採取シ又ハ採取セシメタルトキハ森林法第三十七條及第三十八條ノ例ニ照シテ處斷ス

第二十三條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ數罪俱發ノ例ヲ用ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 本案ハ全ク新規ノ法律案デゴザイマスルガ、其目的ト致ス所ハ林業者ノ權利ヲ保護シ且ツ殖林經營ヲ利導イタスト云フコトニ止マリマス、故ニ茲ニ先ヅ林業ノ最モ盛ナル地方ニ於テノ習慣ヲ聊カ述ベマ

スルハ必要ト思ヒマスガ、是マデ林業者ハ土地ヲ借受ケマシテ、サウシテ殖林ヲ經營イタスコトデゴザイマスルガ、其地方ニ於キマシテハ土地ト立竹木ト全ク分離イタシマシテ、其立竹木ハ恰モ一箇ノ不動産ノ如ク看做シマシテ、之ヲ賣買モ致シ或ハ質入抵當ナドヲ致シテ、而シテ其土地ノ所有者ガ假令幾タビ變動イタシマシテモ、立竹木ハ其儘ニ据置イテ之ヲ人ニ傳ヘルコトガ出來ル、斯ウ云フコトガ先ヅ林業地方ノ習慣トナツテ居ルサウデゴザイマス、就中彼ノ大和國吉野地方ノ如キハ林業者ハ一村又ハ一村ノ大字ヨリ土地ヲ借受ケマシテ、之ニ殖林ノ經營ヲ致シマスルノニ、七八十年若クハ百四五十年ノ期限ヲ以テ之ヲ借受ケルノデゴザイマス、而シテ其約定ハ即チ右ノ如キ年限ヲ立テマシテ、其間殖林ヲ經營イタシテ、而シテ其立竹木ハ矢張り一箇ノ不動産ニ致シテ之ヲ賣買讓與ヲ致シ若クハ質入書入ヲ致シ、サウシテ其年限ガ終ル場合ニ至ツテ之ヲ皆伐期ト稱シテ其立竹木ヲ伐採ヲ致スコトガ、マア習慣ニナツテ居ルノデアリマス、故ニ最初ニモ申シマスル通り此立竹木ト云フモノハ他人ニ轉々讓與スルコトガ出來ルト云フ、先ヅ吉野地方ノ實例ニナツテ居ルノデアリマス、然ル所現行法ハ如何ニ之ヲ定メテアルカト申シマスレバ、現行法ニ依ツテハ土地ト立竹木トヲ分離シテ無イノデアリマス、故ニ單ニ立竹木ノミヲ登記ヲ受ケヤウト致シテモ、是ハ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ立竹木ノ經營ヲ致シマスルモノハ其立竹木ニ付テノ權利ヲ保全スルノ途ガ無イノデアリマス、從ツテ其立竹木ノミヲ賣買讓與イタスコトガ出來ナイ、又質入抵當ニ致スコトモ出來ナイト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、甚ダ林業者ノ不便ヲナスコトニナツテ居リマス、ソレ故ニ今日林業者ハ如何ナル法ニ依ツテヤツテ居ルカト申セバ、已ムヲ得ズ土地ヲ賃借スル場合ニ當ツテ、借地權即チ地上權ノ登記ヲ致シテ先ヅ一時ノ急場ヲ防イデ居ルノデアリマス、然ル所唯地上權ノ登記ノミニテハ固ヨリ立竹木ニ關スル所ノ全般ノ權利ヲ網羅シ盡ス譯ニ參ラヌノデアリマスカラ、之ニ對スル資本家ガ放資ヲ致スニモ、ナカク安心イタシテ金ヲ貸スト云フ譯ニ參ラヌ、故ニ林業者ハ非常ノ困難ヲ感ジテ居リマシテ、久シキヨリ此カタ法律ノ不備ヲ訴へ來ツテ居リマス、故ニ本案ハ取りモ直サズ實地ノ習慣ニ基キマシテ法文ヲ制定イタシタノデゴザイマシテ、其目的トスル所ハ第一ニ立竹木ニ付テ登記ノ制ヲ立テ、第二ニハ其立竹木ヲ以テ不動産ト看做ス、第三ニハ抵當權者ノ權利ヲ保護スル、此三點ニ止マルノデアリマス、尙委シキ

コトハ政府委員ヨリ御質問ニ應ジテ説明モ致スデアリマセウガ、願ハクハ委員ニ付託サレテ御研究アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ハ議長指名デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無イト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四ニ移リマス、紙幣類似證券取締法案、政府提出、第一讀會

紙幣類似證券取締法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十九年三月十九日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 博士阪谷芳郎
内務大臣 原 敬

紙幣類似證券取締法

第一條 一樣ノ形式ヲ具ヘ箇々ノ取引ニ基カスシテ金額ヲ定メ多數ニ發行シタル證券ニシテ紙幣類似ノ作用ヲ爲スモノト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ其ノ發行及流通ヲ禁止スルコトヲ得

前項ノ規定ハ一樣ノ價格ヲ表示シテ物品ノ給付ヲ約束スル證券ニ付之ヲ準用ス

第二條 前條ニ依リ證券ノ發行及流通ヲ禁止シタルトキハ主務大臣ハ直ニ其ノ旨ヲ公告ス

禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ無効トス

第三條 禁止ニ違反シテ證券ヲ發行シ又ハ其ノ證券ヲ授受シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ證券ヲ沒收ス

禁止ニ違反シテ證券ヲ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ノ罰亦前

項ニ同シ

第四條 禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ヲ除クノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法案ハ紙幣ノ統一上ニ妨ゲアル紙幣類似ノ證券ノ取締ヲ嚴重ニスルト云フ趣意デゴザイマス、御承知ノ通り國立銀行條例ノ上ニ於キマシテハ、紙幣ノ發行ト云フモノハ政府ノ特許ヲ得タ者ノ外ハ禁ジテゴザイマス、然ルニ兌換券條例ニ移リマシテ、其後國立銀行ト云フモノガ段々消滅イタシマシテカラ、今日ノ所デハ、紙幣ノ類似ノモノヲ發行イタシマスル法律上ノ取締ガ極メテ不備ニナツテ居リマス、即チ國立銀行條例ハ廢シハ致シマセヌケレドモ、國立銀行其モノガ無クナツテ仕舞ッタモノデゴザイマスカラ、國立銀行條例ガ自然ト消滅シタ形ニナツテ居リマス、然ルニ近年、紙幣類似ノ證券ヲ發行スル者ガ間、ゴザイマシテ、之ヲ取締ルニ付テノ法ガ不十分デゴザイマスカラ、此法律ノ制定ヲ致シタイ考デゴザイマス、尤モ此紙幣類似ト普通ノ證券トノ區別ガ至ッテムヅカシイモノデ、之ヲ不注意ニ致シマスト云フト、商業上ノ發達ヲ妨ゲマスノデゴザイマシテ、例ヘバ小切手ノ如キ其他種々ノ手形ト、ソレカラ紙幣ト云フモノトハ區別ガ甚ダムヅカシイモノデゴザイマス、ソレ故ニ此法律ノ上ニ於キマシテハ絕對ニ禁ズルト云フコトデ無シニ、主務大臣ガ其發行及其流通ヲ禁止スルコトヲ得ルト云フコトニ規定イタシマシタノハ、明ニ惡意ヲ以テ發行シタモノト認メラレルモノガゴザイマス、惡意ヲ以テ發行イタシテ置イテ、サウシテソレヲ引換ヘルコトヲ致シマセヌヤウナ手段ヲスル者ガアツテモ、ソレヲ禁ズルコトハムヅカシイ、又明ニ紙幣ト同様ナモノヲ發行シテ居ッテモ、ソレヲ取締ルコトガムヅカシイト云フ今日ノ有様デゴザイマス、ソレ等ノコトニ付キマシテハ十分ニ注意イタシマシテ全ク紙幣ト同様ナモノ若クハ惡意ヲ以テスル者ヲ取締ル趣意デ、普通ノ商業上ノ手形ト云フヤウナモノニ對シマシテハ固ヨリ毫モ檢束ヲ加ヘル考デハ無イノデアリマス、ソレデ此法案ニ對シマシテノ御協賛ヲ仰イデ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセヌカラ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ハ議長ガ指名イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六ニ移リマス、工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月十九日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ修正、ハ削除ノ符號〕

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法

第一條 造石稅納付濟ノ酒精ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル工業ノ用ニ供スル者ハ政府ノ承認ヲ得テ毎同一石以上ノ酒精ヲ使用スルトキニ限り其ノ造石稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條 造石稅又ハ沖繩縣酒類出港稅納付濟ノ酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル政府ノ工業用ニ供給スル者ハ毎同一石以上ノ供給ヲ爲ストキニ限り其ノ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第三條 前二條ノ請求ハ酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ノ使用又ハ供給後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ酒精ニ對シ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ變性ヲ命スルコトヲ得

第五條 第一條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第二條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第三條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第四條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第五條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第六條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第七條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第八條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第九條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十一條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十二條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十三條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第十四條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ出港稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

ルコトヲ證スヘキ書類及酒精、酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ政府ニ供給シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第六條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石税又ハ出港税ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求シタル者ハ其ノ造石税又ハ出港税ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第七條 間接國税犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニ之ヲ準用ス

附則

醫藥用工業用酒精戻税法ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行^{。後三箇月迄ニ}前ニ於テ造石税ノ賦課ヲ受ケタル醫藥用酒精ノ税金下戻ニ關シテハ本法施行後三箇月ヲ限リ醫藥用工業用酒精戻税法ヲ適用ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法案ハ、現行ノ法律ニ於キマシテハ醫藥用ノモノニ戻税ヲ認メテ居リマシタノヲ廢シタイト云フ趣意デゴザイマス、ソレニ今一箇條ハ酒精バカリデナク、酒精ノ外ノ例ヘバ燒酎ノ如キモノモ工業用ニ使フモノハ戻税ヲシテ成ルベク内地ノ工業ノ發達シマスコトヲ圖リタイト云フニツノ趣意デゴザイマス、デ醫藥用ノ戻税ノコトニ付キマシテハ前年來始終藥品製造ノコトニ付テ議論ガゴザイマシテ、是ハ戻税ノ方ガ宜シイト云フ説ト、戻税ヲスルニ付テハ却ッテ弊害ガアツテ藥品ガ危末ニナル、或ハ脫税ヲ：

：名ハ藥品トシテ脫税ヲ謀ルト云フモノガアルト云フコトデ、此ニツノ説ガゴザイマシタノデゴザイマシタ、税ノ取締ノ上ニ於キマシテハ戻税ト云フモノハ宜クゴザイマセスノデゴザイマス、但シ藥品製造ノ上ニ如何ナル關係ガアルカト云フコトニ付キマシテ中央衛生會ノ方ニ諮詢イタシマシタ所ガ、中央衛生會ノ方デハ藥用戻税ト云フモノハ其必要ガアルマイト、斯ウ云フ答

案デゴザイマシタ、答デゴザイマシタ、ソレナラバ此徵税ノ上ニ於キマシテ戻税ト云フモノハドウモ脫税ノ恐レガアルノデゴザイマスカラ、藥品製造ニ付テ既ニ必要ヲ認メストスル以上ハ藥用ト云フモノノ戻税ヲ廢シテモ差支ナイト考ヘマスノデ、現行法ヲ修正イタシマシタ、ソレカラシテ今ノモウ一ツ酒精バカリデナク其他ノ燒酎ノ如キモノニ付テ工業用ニ用非ル場合ニ戻税ヲスル、此ニツノ趣意デ此法案ヲ修正スル爲ニ提出イタシマシタノデ、附則

ニ付キマシテ衆議院デ此施行ノ期限ノコトニ付テ、修正ガゴザイマシタガ、是ハ何等差支ナイコトト政府ニ於キマシテハ同意ヲ致シマシタ、此法案ニ對スル御協贊ヲ仰イデ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第七ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ハ議長ニ於テ選定イタシテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第八、官國幣社經費ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

官國幣社經費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月十九日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ修正、ハ削除ノ符號〕

官國幣社經費ニ關スル法律案

第一條 官國幣社ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ供進シ其ノ各社ニ對スル金額ハ內務大臣之ヲ定ム

天災事變ノ爲要スル臨時費用ノ外前項ノ經費ハ明治四十九年度ニ至ル迄ハ毎年二十二萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 從前官國幣社ニ於テ積立テタル永遠資本金及維持元資金ハ官國幣社ノ基本財産トシ其ノ元本及利子ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス

官國幣社ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ前條供進金ノ一部ヲ蓄積シ前項ノ基本財産ニ繰入ルヘシ

內務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ基本財産ノ利子ヲ官國幣社ノ經費ニ充ツルコトヲ得

前項基本財産ノ利子及其他ノ財産並
官國幣社ノ財産及其ノ收入ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ經費ニ充ツルコ
トナ得

第三條 官國幣社ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ臨時ノ費用ニ充ツル爲第一
條供進金ノ中ヨリ一定ノ積立ヲ爲スヘシ

前項ノ積立金ハ各社共通ノ費途ニ充テ内務大臣ハ内務省神祇局長ヲシテ
之ヲ保管セシメ其ノ收支ヲ取扱ハシム

第四條 從前官國幣社ニ於テ積立テタル官國幣社保存費共通金ハ前條各社
共通金ニ編入ス

第五條 本法ハ官幣大社臺灣神社及別格官幣社靖國神社ニ適用セス

附 則

第六條 第一條ニ依リ供進スル經費ハ天災事變ノ爲要スル臨時費用ノ外明治四十九年度ニ至ル迄每

年二十二萬圓ヲ超ユルコトナ得ス

第七條

○本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 唯今内務大臣ハ委員會ノ方ニ出席イタシテ居リマ
スルデ、私ヨリ本案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、此官國幣社ノ經費ニ關シマス
ル現行ノ制度ハ官國幣社ノ經營ニ對シマシテ不十分ノ感ガアリマスル所カ
ラ、即チ本案ヲ制定スルノ必要ヲ認メマシタ次第アリマス、要スルニ現今
ノ此官國幣社ニ國庫ヨリ經費ヲ供進イタシマスコトハ、四十九年度マデノコ
トニナツテ居リマスルノヲ、此制限ヲ除キマシタノガ先ヅ本案ノ大體デゴザ
イマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○田中芳男君 チョット質問イタシタウゴザイマスガ、唯今ノ政府委員ニ御
質問ヲ致シタイノデゴザイマス、此「各社共通金」ト云フモノハドウ云フ風ニ
解釋シテ宜シウゴザイマスカ、ソレヲドウカ御示シテ願ヒマス

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答ヲ致シマス、「各社共通金」ト申シマスルモ
ノハ、從來國庫カラ官國幣社ニ供進イタシマシタ金ノ一部ヲ積立テ、其積
立テマシタ資金ハ各官國幣社ニ共通スル目的ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、即
チ各官國幣社ニ於キマシテ營繕等ノ必要ガアリマスルト、其資金ヲ以テ各官

國幣社ニ共通シテ其資金ヲ支出スルト云フ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスル
ノヲ從來之ヲ官國幣社ノ共通金ト稱シテ居ッタ、即チ官國幣社ニ於テ積立ッ
金ヲ總テノ官國幣社ニ共通シテ使ッテ居リマスカラ、ソレデ官國幣社共通金
ト稱シテ居ルノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モゴザイマセヌカラ次ノ議事日程ニ移
リマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委
員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ニ御任セニナリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、農工銀行補助法中改正法律案、政
府提出、衆議院送付、第一讀會

農工銀行補助法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年三月十九日

衆議院議長杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行補助法中改正法律案

農工銀行補助法中左ノ通改正ス

第二條中「十五箇年」ヲ「二十箇年」ニ改ム

第四條第一項中「十箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

第七條第一項中「十五箇年」ヲ「二十箇年」ニ改ム

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法案ハ現行ノ農工銀行ニ對シマスル補助期限ガ
來年デ滿期ニナリマス、ソレヲ今五箇年延期イタシタイト云フ趣意デゴザイ
マス、唯今ノ補助ノ方法ハ農工銀行持株ノ内ニ政府ガ金ヲ出シテ株ヲ持ッテ
居ル部分ガゴザイマス、ソレニ對スル配當ハ十箇年ハ政府ガ取ラズニ民間ノ
株主ヘ配當スルト云フコトニナツテ居リマスノデス、而シテ此政府ノ持株ハ

漸次地方ノ團體ヘ引繼グ等ニナリマスノデアリマス、然ルニ此本案ノ改正ノ如ク致シマスルト尙五箇年間政府ノ持株ニ對シテ配當ヲ受取ラズニ政府ノ持株ニ對シテ配當スベキ分ヲ普通ノ民間ノ持主ニ配當スルト云フ點ガ即チ補助ニナリマス、何ガ故ニ斯ノ如ク五箇年間延期スルノ必要ガアルカト申シマスレバ、現在ノ農工銀行ノ發達ノ上カラ考ヘマスト豫期ノ如クニ未ダ事業ガ進ミマセヌ、是ニハ日露戰役ノ關係等モゴザイマシテ事業ガ十分ニ發達イタシマセヌカラ、來年期限ガ切レマスト現在ノ儘デ置キマスト株主ノ配當ガ減ル傾キニナリマス、ソレデ政府ニ於キマシテハ日露戰爭ノ爲ニ尙將來農工業ノ發展ヲ期サナケレバナラス、從ッテ農工銀行ノ貸付ケル所ノ利息モ之ヲ廉クシテ、成ルベク農工業ノ發展ヲ期サナケリヤナラヌト云フ際デゴザイマスカラ、此年限ヲ五箇年延長シテ一方ニハ農工銀行ノ便利ヲ圖リ、而シテ一方ニハ其監督ヲ嚴ニシテ貸付ヲ廉ク且ツ便利ニセシムルト云フコトガ、即チ今日ニ於テ必要ナコトデアラウト認メマシタノデアリマス、御贊成ヲ仰イデ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ハ議長ガ指名イタシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二ニ移リマス、鹽專賣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

鹽專賣法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月十七日

右特別委員長

田中 芳男

貴族院議長公爵德川家達殿

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 鹽專賣法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報道イタシマス、此委員會ハ去ル十五日ニ初メテ正副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ、同日直ニ政

府委員ノ御都合モ宜シウゴザイマシタカラ、委員會ヲ開キマシテ、先以テ質問ヲ致シマシテ、當日ハ質問ノミニ終リマシテ、次ノ委員會ヲ十七日ニ開キマシテ是亦先ニ殘リマシタル所ノ質問ヲ繼續イタシマシテ、質問ガ終リマシテ逐條審議ニ移リマシタル所ガ、誰一人ノ御異議モ無ク可決イタシマシタ次第デゴザイマス、サテ今度ノ此法律案ノ改正ニナリマス其要領ヲ摘ンデ申上ゲマスレバ、昨年七月實施ニナリマシテ、マダ日ノ淺イノニ最早改正セヌナラヌト云フコトガ參リマシタルハ、昨年ハ初メテノ法律ヲ實施イタシマシタコトト云フ上ニ、昨年ハ天候ノ爲ニ鹽ガ非常ニ取レ高ガ少クテ、殆ド一年ノ三分ノ一クラ非ハ取レナカッタト云フ次第デゴザイマス、ソレユエ鹽ノ價ガ大層増シマス、又專賣ト云フ所ヲ肩ニカケテ狡猾手段ヲ以テ餘ホド鹽ヲ高賣リシタト云フコトト存ジマス、其中ニハ又他ノ手段ヲ執ッテ鹹水ト云フモノヲ造ッテ利用シタト云フコトモ出來タヤウデアリマス、此鹹水ト云フモノハ先般私ハ政府委員ニ御質問イタシタヤウナ次第デ、鹹水ト云フモノハ通例今日マデ賣買スルヤウナモノデハ無カッタ様子デアリマスケレドモ、鹽ノ高クナッタ爲ニ鹽ノカライ水ヲ賣出スト云フコトガアッタト見エマス、鹽ノカライ水ヲ賣出セバ鹽デナイカラ税モ何モカ、ラズ需要者ノ手ニ落チル、ソレハ何ニ使フカト云フト漬物トカ魚ヲ漬ケルノニ便宜上使ッタモノト見エマス、尤モ鹹水ノミヲ賣リマス所ハ全國ニ漸ク千葉縣其外デ十五箇所クラ非アルトカ云フコトデ、マダ澤山ニ斯ウ云フモノヲ拵ヘル所ハ無イノデアリマスガ、併シ唯今ノ通りニ此取締ヲシテ置キマセスト、餘ホド鹹水ノ製造ガ發達シテ之ヲ用非テ鹽ノ代リヲサセルト云フコトガ續々起ッタ以上ハ、折角ノ鹽專賣モ大ニ妨ゲラレルコトガアリマス、故ニドウシテモ之ヲ取締ラナケレバナラヌト云フ所カラ、今度此三條四條ノ鹽ノ下ニ鹹水ヲ入レル運ビニナリマシタ次第デアリマス、ソレカラ又第三條ニ左ノ一項ヲ加ヘルト云フ所ニ智利硝石何ト云ウテ珍シイ名ガ大分擧ゲテアリマス、之ニ付テ能ク承リマシタガ、智利硝石ハ固ヨリ無税ノモノデ肥料ニノミ使フモノデアアルガ、其名ヲ假リテ全ク鹽同様ナ物ヲ輸入シテ參ル、其名ヲ假リタ爲ニ輸入税ヲ免除サレテ這入ッテカラ聊カノ手ヲカケレバ直ニ鹽ニナルト云フコトヲ狡猾手段デヤッタモノト見エマス、デ肥料ノ方デアッテ見マスレバ百分中ニ三ヤ五ノ鹽ガアルノハ仔細ナイガ、其上ニ三十モ四十モアッテハ肥料ニハ不適當ト云フコトデアリマス、故ニ澤山ナ肥料ヲ持ッテ來ルト云フノハ全ク聊カ智利硝石ヲ化シテ名ヲ智利硝石ニ假リ

テ輸入シタモノト見エマス、ソレユエ斯様ナモノハ是カラシテ百分ノ四十以上ノモノハ鹽ト看做ス、故ニ持ッテ來ルコトハ出來ヌヤウナ運ビニナリマスカラ、後來ハ此法律ガ出來マシタナラバ、先ヅ左様ナ狡猾手段ヲ執ルコトハ無イヤウニナラウト思ヒマス、ソレカラシテ「カイニツト」其外ノ物モ矢張り西洋カラ持ッテ來ル物デ、全ク山鹽ノ部分ニ付テノ名ダサウデアリマス、山鹽ニハ段階ガアッテ其中ニハ名ガ變ッタ物ガアッテ、今年始メテ澤山ナ名ガ出マシタ、ソレデ日本ハ皆持ッテ來テアルカト云フト、マダサウハ持ッテ來テナイケレドモ、捨テ、置ケバ名ヲ他ノ物ニ變ヘテ食鹽ヲ持込ンデ來ルヤウニナルカラ同ク取締ラナケレバナラヌト云フ場合ニナリマシタノデゴザイマス、是等モ鹽專賣ノコトガ無イ以上ハコンナモノガ這入ッテ來マセズ、殊ニ昨年鹽ノ價ガ高カッタ爲ニ斯様ナ物ガ大分入込ンデ參リカケタモノト見エマシテ此取締ガ付キマシタ次第デアリマス、ソコデ此中ニ書イテアリマサル「四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スル」ト云フコトガ書イテアリマス、此四十以上ハ百分ノ四十以上ノ鹽化曹達、ト云フノハ我々ノ日常食用スル所ノ食鹽ノコトダト申スコトデアリマス、鹽化曹達ト云フノハ銘々ガ需要シテ居ル食鹽、サウ御承知下サレバ、ソレデ御分リニナルコトダト存ジマス、第五條ニ一項ガ加ハリマシタノハ、唯今申上ゲタ所ノ第三條第四條ニアリマス、「鹹水」ノ取締ガ立ッタニ就キマシテ此第五條ニ是非トモ其制裁ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトデ、此第五條ニ一項ヲ設ケラレタ次第デアリ、ソレカラシテ次ノ第十九條ノ第一項ノ一號ト云フモノハ外國輸出ノミデアリマシタノガ、今度ハ變リマシテ「移出」ウツシダスト云フコトニ變リマシタノデ、是ハ外國へ出ルノデハ無イ、内地ノ日本領ノ中ノ部分デ此法律ヲ行ハヌ所へ持出スコトデアルサウデゴザイマス、ソコデ第二十條ノ二ト云フモノハ、是ガ肝腎ナコトデ、唯今マデハ此制限ガアリマセナンダ爲ニ鹽ヲ無暗ニ高ク騰ゲテ賣ッタト云フコトデアリマスルガ、今度ハ茲ニ一ノ制限ガ出來マシタカラシテ、政府カラシテ出マスル所ノ制限ヲ超エテ高ク賣ルコトハ出來ヌヤウニナリマスノデ、ソレデドレ位ノ高ク賣ッタカト云フコトヲ承リマスレバ、先ヅ昨年ハ十四五錢ニモ騰ッタケレドモ、以後ハ八錢ヲ超エテ高ク賣ルコトハナラヌヤウニスル、ソレデ總テ八錢以下ノ鹽ノ外、賣ルコトハナラナイカラシテ昨年ノヤウニ暴騰スルコトハ無イヤウニナリマス、ソコデ昨年ノ暴騰ト云フコトニ付ケテモ矢張り等級ガアッタ様子デゴザイマス、鹽ノ百分中ニ含ム所ノ分量ニ

依ッテ五等ニ分ケテアルト云フコトデゴザイマス、第五ノ等級ニ位スル所ノ鹽ハサウ高ク賣ラナカッタデゴザイマスケレドモ、第一ニ位スル所ノ鹽ナドハ宜イ値ニ賣ッタモノト見エマスル、ソコデ鹽ハ全國通ジテドウモ價ヲ定メルト云フコトハ出來ナイ、ナゼナラバ製造場ニ近クノ所ハ運搬費モ一向掛ラヌカラ勢ヒ廉ク賣レル譯デアルガ、山中マデ持込ムヤウナモノハ運搬費モ掛リ隨ッテ高クナル、ドウシテモ全國同一ノ價ヲ定メルコトハ出來ナイカラ、是ハ八錢ヲ超ユルコトハナラヌト云フコトニナッテ居レバ、其以下ノ等級ニ付テ賣捌クヤウニナルト云フコトデアリマス、第三十條ノ二ト云フモノハ矢張り第二十條ノ二ガ出來マシタ上ノ制裁デアリマスカラ、是ハ前條ニ通ジテ制裁ガ這入りマシタノデ、第四十條ノ二ハ、是ハ鹹水ヲ加ヘマシタ以上ハ取締ガゴザイマセヌト第三條第四條ニ鹹水ノ取締ガアリマス以上ハ、是亦取締ヲ付シマスル譯デ、此制裁ガ付イテ參リマシタ、デ斯様ニ改正ニナリマスレバ昨年ノ如ク鹽ガ暴騰イタシマシテ大ニ民間ノ妨ゲニナッタト云フコトヲ防グコトガ出來ル、先刻モ申シマス通り昨年ハ意外ニ鹽ガ不作デアリマシタ故ニ、旁、昨年ノヤウナコトガ出來テ已ムヲ得ズ外國ノ鹽ヲ入レネバナラヌト云フコトガ出來タ様子デゴザイマスガ、先ヅ此取締ガ付イテ居レバ以後ハ左様ナコトハ、例ヘバ外國カラ鹽ヲ持込ムニシロ、無キコトニナルデアラウト考ヘマスカラシテ、此度ノ法案ハ大ニ結構ナ法案ト考ヘマスル、ソコデ其外申上ゲマサルト、衆議院ニ於カレマシテハ此法律以外ノコトヲ餘ホド政府ト交渉シテ便宜ヲ圖ッヤウニ見エマス、是ナドハ最モ鹽ノ取扱上ニハ好都合デアラウト考ヘマスケレドモ、是ハ此法案ノ外ノコトデゴザイマスカラシテ、私カラシテ是ハ辯ジマセヌ、兎ニ角此改正ガ出來マスケレバ唯今マデノ法律ノ不備不滿ノ所ハ完クナルデゴザイマセウシ、昨年法律實施以來發見サレタ所ノ不都合モ是デ補ヘルデアラウシ、至極結構ナ案ト考ヘマスカラシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマスカラ、滿場諸君ニ於カレマシテモ、ドウゾ御承知ノ上御賛成アラムコトヲ希望イタシマス、デ元來是ハ政府案デゴザイマスカラシテ、若シ細カイコトデ御質問ガゴザイマスレバ、ドウゾ政府委員ノ方へ御尋ネ下サルヤウニ致シタウゴザイマス

○伊澤修二君　チヨット委員長ニ伺ヒマス、此第十九條第一項第一號ノ所ニゴザイマス「本法ヲ施行セサル地ニ移出スルモノ」ト云フノハ、内地ノ中デ此本法ヲ施行セヌ所ハドウ云ウ……臺灣デスカ

○田中芳男君 臺灣ノコトデゴザイマス

○伊澤修二君 其外ニゴザイマスカ

○田中芳男君 臺灣デゴザイマス

○伊澤修二君 臺灣ノミ...

○田中芳男君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガ無イヤウデアリマスカラ、第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔賛成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ、大原伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無イト認メマスカラ直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス...

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔男爵徳川厚君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 徳川男爵ハ何デスカ

○男爵徳川厚君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ...

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマスカラ直チニ開キマス、

第二讀會決議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無イト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、貯蓄銀行法案、政府提出、第二讀會、第一條ヨリ修正ノ第二十二條マデヲ問題ニ供シマス、...

報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス、次ハ修正ノ第二十三條ヲ問題ニ供シマス

問題ニ供シマス

○澤原俊雄君 此二十三條ニ對シテ意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) コチヲニ御出デヲ願ヒマス

〔澤原俊雄君演壇ニ登ル〕

○澤原俊雄君 私ハ修正案第二十三條ヲ原案第二十一條ノ文言通りニ復活セラレムコトヲ希望イタシマス、本案ハ現行法ト對照イタシテ見マスレバ、非常ナル打撃ヲ加ヘタモノデアッテ、實ニ激變ヲ與ヘタル規定デゴザイマス、故ニ大體ニ於テ私ハ全廢ヲ希望シテ居ルモノデゴザイマス、併ナガラ既ニ大多數ヲ以テ二讀會ニ移ラレマシタノデアリマスカラ、私ハ唯此二十三條ノ修正ニ止ルダケノ希望ヲ申述ベヤウト存ジマスル、デ此修正案ニ於ケル預金總高ノ四分ノ一ヲ一時ニ積立ツルト云フコトヲ原案ノ如ク營業年度利益金ノ中カラ十分ノ一ヅ、漸次ニ積立ツルト云フコトニシ、ソレカラ修正案ノ國債證券ト限ツテゴザイマスノヲ原案ノ如ク有價證券ニ擴メラレムコトヲ希望スルノデゴザイマス、此委員會ノ修正ハ現行法ヲ其儘當嵌メラレタモノデゴザイマスカラ別段苦痛ヲ與ヘル理由ハ無イト云フコトハ一應御尤モノ説ニ考ヘマス、併ナガラ此現行法ナルモノハ預金ノ種類ニ於キマシテモ、又資金運用ノ方法ニ於キマシテモ、殆ド通常ノ銀行ト異ツテハ居リマセヌ、ソレデ此四分ノ一ヲ供託イタシマスルト致シマシテモ、大ナル苦痛ハ感ゼナイヤウニ思ハレル、併ナガラ今同提出ノ本案ニ依リマスレバ、根本的ニ規定ノ基礎ガ異ツテ居リマス、ソレデ又改正セラレベキ點モ少ナイノデハゴザイマセヌガ、其重ナルモノヲ擧ゲテ見マスルト第一、資金ノ運用ニ付キマシテ現行法ハ普通銀行ト同ク何等ノ檢束モ受ケテハ居リマセヌガ、此新案デ見マスルト第三條ニ列記セラレタル如ク其範圍ヲ狭クシテ運轉ガ甚ダ窮屈デアルト云フコトニナツテ居

リマスル、ソレカラ現行法ニハ貯蓄銀行ガ預リマシタ金ヲ其貯蓄銀行ガ信用シテ居ル所ノ、即チ關係アル所ノ銀行ニ預ケマスルノニハ無制限デゴザイマシタ、ソレガ此本案デハ第四條ニ於テ制限ヲ加ヘラレテ居リマス、是等ハ營業上檢束ヲ加ヘラレタル大ナルモノデアリマス、然レドモ此原案ヲ通觀イタシテ見マスレバ此檢束ハ加ヘラレテ居リマスケレドモ、又貯蓄銀行者ニ便益ヲ與ヘラレタ點モアルノデゴザイマス、即チ第七條ニ於テ一口三十圓未滿ノ預金ニ對シテ貯蓄銀行ノ特色ヲ定メテゴザイマス、ソレカラ又現行法ノ無限責任ト云フモノヲ解除イタシテゴザイマス、ソレカラ供託方法ニ付テハ即チ私ガ茲ニ希望ヲ述ベマスル點デゴザイマス、最モ便益ヲ與ヘテゴザイマス、ソレデ此原案ハ不十分トハ考ヘマスルケレドモ、併ナガラ其稍權衡ヲ得セシメトスルコトニハ力メラレテアルヤウニハ思ヒマス、然ルニ委員會ハ政府ガ由ッテ以テ貯蓄銀行者ニ便益ヲ與ヘムトセラレタル所ノ第七條、第二十三條ト云フヤウナモノニハ修正ヲ加ヘラレ、サウシテ又更ニ此無限ノ責任ヲ付セラレタヤウナコトニナツテ居リマス、是ハ實ニ私ハ解釋ニ苦ムノデゴザイマス、抑、貯蓄銀行ナルモノハ零碎ノ貯金ヲ集ムル所デゴザイマシテ、債權者ノ利益ヲ保護スル點ニ付テハ取締上最モ安全ナラシムルト云フコトハ、是ハ論ヲ要セヌコトデゴザイマス、故ニ政府ハ法案ヲ提出セラレマスル同時ニ十分ナル討究ヲ遂ゲ、何等ノ不都合ヲ取締上ニ來サザルベキヲ期セラレタルハ確信シテ居リマス、即チ前申上ゲマシタ如ク資金ノ運用方法ノ如キ、其他ニ此主務大臣ハ銀行業務ノ執行財産ノ狀況如何ニ依リマシテハ事業ノ停止ヲ命ジ其他必要ナル命令ヲ發シ、或ル場合ニハ取締役監査役ノ改選ヲ命ジ、或ハ全然設立ノ認可ヲ取消スト云フコトヲ命ズルガ如キ、絶對無限ノ權力ヲ此法案ニ規定セラレテアルノデアアル、其他澤山現行法ト相違ノ點ハゴザイマスルケレドモ、要スルニ此新法ハ舊法ニ比較シテ見ルト當業者ノ取締ヲ嚴ニシ監督ヲ十分ニシテゴザイマスルカラ、貯蓄銀行其者ノ基礎ヲ鞏固ニシ債權者ノ權利ヲ保護スルノ途ハ十分デアラウト思ヒマス、シカモ尙此上ニ法定積立金ノ外ニ原案ノ如ク營業年度毎ニ利益ノ幾分ヲ積立ツルノミナラズ、取締役在任中ニ生ジタル義務ニ付キ無限ノ責任ヲ負フモノデゴザイマスルカラ、不都合ハアルマイト政府ハ信セラレタモノデアラウ、本員モ亦其點ニ於テハ政府ト感同ジウスルモノデゴザイマス、然ルニ委員會ノ修正ト云フモノハ之ヲ更ニ一步ヲ進メマシテ預金總高ノ四分ノ一

ヲ一時ニ積立テサセヤウトシタノデアアル、サウ致シマスルト百萬圓ノ預金ガアレバ二十五萬圓ニナリ、千萬圓ノ預金ガアレバ二百五十萬圓ヲ供託セネバナラス、勿論其供託ハ公債證書ヲ以テ致シマスレバ其利子モゴザイマセウケレドモ、貯蓄銀行ハ之ヲ積立テ、置クノミデ運用スルコトガ出來ナイモノトシタナラバ、經濟上ノ眼カラ見マシテモ不必要ナル檢束ト言ハナケレバナラヌト考ヘマスル、此銀行ノ供託金ヲ多ク致シマスルトキニハ益、銀行ノ基礎ヲ固クスル譯デアアルカラ、利益ハ少カラウケレドモ弊害ハ無イ、殊ニ貯蓄銀行ナルモノハ營利的ノモノデナイト云フ御議論ガアルカモ分リマセケレドモ、本法ニ認メラレタル如キ貯蓄銀行ナルモノハ株式組織デゴザイマシテ、營利的ノモノデアルト云フコトハ明白ナル事實デゴザイマス、然レバ債權者ノ利益ヲ保護イタシマスルト同時ニ一方又營業者ノ利害モ眼中ニ置イテヤラナケンバナラヌコトダラウト思フ、然ルニ一方必要ノ程度ヲ超エタル所ノ檢束ヲ加ヘマスルトキニハ、營業者ノ利益ヲ減少スル譯ニナリマスカラ、勢ヒ預金利子デモ引下ゲネバナラス、從ッテ貯蓄者ノ不利ヲ來タスト云フコトハ貯蓄獎勵ノ上ニ於テ誠ニ遺憾ニ考ヘマスノデゴザイマス、苟モ貯蓄銀行ヲ存置スル必要ガアルモノト致シマスレバ寬嚴共ニ宜シキヲ得ナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ委員會ノ修正ハ現行法ノ儘デアアルカラ當業者ニ打撃ヲ與フルコトハ無イト云フ御議論ガアルカモ存ジマセケレドモ、併シナガラ他ノ一方ニ於テ現行法ヨリ過重ノ檢束ヲ與フルモノデゴザイマスルガ故ニ、之ニ相當スル利益ヲ當業者ニ與フルハ當然ナコトデアラウト私ハ信ジマス、故ニ政府提出ノ此原案ノ文字通りニ第二十三條ハ復活サレムコトヲ希望イタシマス、ドウカ諸君、御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔武井守正君演壇ニ登ル〕
〔澤原俊雄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今武井君ニ發言ヲ許シマシタ

○武井守正君 私ハ本案ノ委員ノ一人デゴザイマスルカラ、今澤原君カラシテ意外ナ動議ガ出マシタニ就テ一言辯ゼザルヲ得ヌデアリマス、貯蓄銀行ハ普通銀行ト違ヒマシテ普通銀行ハ元ト營利ヲ目的トシ商工業者ノ金融機關トナルモノデアリ、貯金銀行ナルモノハ細民ノ零碎ナ金ヲ積マセテ他日一資産ヲ爲サシメルト云フコトノ面倒ヲ見ル、即チ慈善主義カラ起ルベキモノデアアルノデアリマス、決シテ單ニ營利ヲ目的トシテ立ツベキ會社デハナイ、營

利ヲ目的トシテ立ツベキ會社デアリマスレバ、ナニ一錢二錢ノ零碎ノモノヲ非常ナ手數ヲシテ殊ニ複利法ヲ以テ面倒ナコトヲスベキ譯ハナイ、皆普通銀行ヲ起スベキデアアルノデアリマス、モト慈善心カラ起ルベキモノデアアルノデアリマス、而シテ今澤原君ノ二十二條ノ、現行法ニ委員會ダ戻シマシタ預金ノ四分ノ一ヲ尙原案ノ純益十分一ニ戻サウト云フニ就テノ纏々御説ヲ承リマスルニ、非常ナ打撃デアアルトカ、第三條ニ於テ營業ノ幅ヲ極メテ窮屈ニシタ其報イトシテ是ハ緩メナケレバナラヌト云フ御趣意ニ外ナラヌヤウデゴザイマシタガ、元ト融通ヲ云々ト仰シヤルケレドモ、サウ融通ヲ云々スルヤウナ會社デナクシテ確實ヲ主トセネバナリマセヌカラ、國債證券ヲ積ンデ人ニ安心ヲ與フルト云フヤウナコトハ最モ營業上ニ取ツテ必要ナ譯ト思ヒマス、是マデハ關係ノ銀行ニ無制限ノ預金ヲシタ、如何ニモサウデアッタデゴザイマセウ、ソレ故ニ甚ダ信用ヲ缺イタノデゴザイマス、今度四分一ト云フ制限ヲ置カレマシタノハ、尤モ四分一以外ニ預ケルコトハ出來ヌト申シマスルノハ即チ信用ヲ戻スノデアアツテ、即チ其信用ヲ高メルノデゴザイマスルカラ、僅ニ百萬圓ニ付テ二十五萬圓ヲ供託スル、即チ四分一ノ供託ハ非常ニ多イヤウデアリマスルケレドモ、元ト確實ヲ主ト致シマスルカラ、四分一以外ニ國債證券ノ如キモノヲ積ンデ以テ此鞏固ヲ示シテ居ル、供託ヲスレバ尙世間ノ信用ガ厚シ、金庫ニ仕舞ッテ置イテハソレホド知レマセヌガ、ソレヲ手段ヲ以テソレヲ知ラシメテ自分ノ所ハ危イ貸出シ等ヲセズ、斯カル確實ナ業務ノ執リ方ヲシテ居ルト云フコトヲ知ラスト云フコトニ汲々トシテ居ル位デアアルノデアリマス、故ニ預金ノ四分一ヲ供託シタカラト云ウテ今デハ苦痛ヲ感ジテ居リマセヌ、即チ今日ハ四分一デアアルガ、少シモ苦痛ヲ感ジテ居リマセヌ、何ヲ苦シンデ十分一ニ戻サナケレバナラヌト云フ譯デアリマセウカ、融通上ニ不便ヂヤト云フコトデアリマスルケレドモ、此第三條ノ貸付等ノ幅ノ中デ融通ヲシマスニ、少シモ此以外ニ尙危險ヲ冒シテ貸出シヲセネバナラヌト云フコトハ少シモ見出サヌ、又サウ云フコトヲスベキ銀行デナイノデアリマスカラ、且ツ現行法ニ戻シマスル上ニ第二項ヲ置キマシテ、是マデハ第二項ガアリマセヌカラ幾ラカ窮屈ヲ感ジタノデアリマスケレドモ、委員會ノ修正ハ第二項ヲ置キマシテ斯ル場合ニハ許可ヲ得テ取出スコトガ出來ルト云フコトニ融通ヲ付ケマシタノデゴザイマスカラ、銀行ハ之ニ由ッテ大ニ仕事ガ仕易クナル譯デアリマスカラ、以上ノ譯デゴザイマスカラ、ドウゾ委員會ノ修正通

リ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○澤原俊雄君 唯今武井君ノ御論デハ此貯蓄銀行ハ慈善的ノモノデアルト云フコトデアリマシタガ、此委員會ノ速記録ヲ見マシテモ政府委員ノ御説明ニハ日本デ慈善的ノ銀行ト云フモノハ殆ド無イト云フコトヲ言ッテアリマス、其通リデアラウト私ハ考ヘマス、既ニ慈善的ノ貯蓄銀行デナク營利的ノモノトスレバ、是ニ營利ノ方法ヲ考ヘルノハ必要ノコトデアルト考ヘマス、ソレデ其他ノ點ハ前ニ申シマシタカラ茲ニ申上ゲマセヌガ、慈善的ノモノデアルカハ知りマセヌガ今日ノ情況ニ於テハ貯蓄銀行ハ慈善的ノモノデナイト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キマス

○木村誓太郎君 澤原君ニ賛成デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 澤原君ノ動議ハ原案復活デゴザイマスカラ賛成者ハ要シマセヌト思ヒマス、採決ヲ致シマス、特別委員長ノ報告ヲ可トセラ、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、次ニ修正ノ第二十四條ヨリ終リマデ問題ニ供シマス、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○武井守正君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ願ヒマス

○男爵川口武定君 賛成

「賛成」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ武井君ノ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四ニ移リマス、債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也
明治三十九年三月十七日

衆議院議長杉田定一
貴族院議長公爵徳川家達殿

第一條 債權者カ民法第四百二十三條ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ不動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證明スル書面ヲ提出シ且申請書ニ同法第三十六條ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名住所若債權者カ法人ナルトキハ其ノ名稱並事務所及代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第二條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登記ヲ爲スニハ不動産登記法第五十條第二項ニ依ルノ外債權者ノ氏名、住所又ハ名稱並事務所及代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産登記法第六十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ債權者ニ還付シ且登記済ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス
不動産登記法第六十三條ノ通知ハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 本案ハ衆議院ノ提出ニ係ルモノデゴザリマスルガ、其趣旨ハ或ル場合ニ於テ債權者ガ債務者ニ對スル所ノ權利ノ保障ニ缺點ガアルニ依リ此缺點ヲ補ハムトスルニ止マリマスル、其或場合ト申スハ如何ナル場合ヲ指スノデアリマスルカト云フコトヲ述ブルガ必要ト思ヒマスル、凡ソ登記簿ニ掲ゲタル債務者ノ不動産ノ表示ノ變更ヲ生ズルコトガアルノデゴザイマスル、或ハ又債務者ガ登記簿ニ表示シタル所有者ノ相續人タル場合ガアリマスル、斯ノ如キ場合ニ當リマシテハ債務者タル者ガ變更ノ登記又ハ相續登記ヲ致サナケレバナリマセス、然ル所此登記ノ手續ヲ忘レルコトガアルノデアリマスル、デ此場合ニ當リテ債權者タル者ガ民事訴訟法又ハ競賣法ノ規定ニ據リマシテ右ノ不動産ニ對シ競賣ノ申立ヲ爲シマスルトカ其債務者

又ハ不動産ノ表示ガ登記簿ト相違ヲ致シテ居ル所ヨリシテ此競賣ノ申立ヲ爲ス譯ニ行カヌヤウニナルノデアリマスル、然ルニ債務者ハ是レ幸ナリト致シテ何時マデモ故ラニ相續ノ登記モセズ或ハ又變更ノ登記モ致サナイノデアリマスル、其結果トシテ債權者ハ其權利ヲ行用スルニ非常ナ阻礙ヲ被ルノデアリマスル、現時此弊害ガ益々著クナツテ來タノデアリマスル、デ斯ノ如ク債權者ノ權利ニ阻礙ヲ來タスト云フコトニナリマシテハ法律ノ缺點ヨリシテ生ズルコトデアリマスルカラシテ、ドウシテモ此缺點ダケハ補ハナケレバナリマセス、ソレ故ニ政府ニ於テハ此衆議院ノ提出案ニ同意ヲ表シマシテ、成ルベクハ、債權者ノ權利ヲ保全スルノ途ヲ取ラナケレバナラヌト考ヘマシタ譯デアリマスカラ、當院ノ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第十五ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ハ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六ニ移リマス、醫師法案、衆議院提出、第一讀會
醫師法案
右本院提出案及送付候也

明治三十九年三月十九日

衆議院議長杉田定一
貴族院議長公爵徳川家達殿

醫師法

第一條 醫師タラムトスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 帝國大學醫科大學醫學科又ハ官立、公立若ハ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校醫學科ヲ卒業シタル者
- 二 醫師試験ニ合格シタル者

三 外國醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

醫師試験ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ノ卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ醫學專門學校ヲ卒業シ若ハ外國醫學校ニ於テ四箇年以上ノ醫學課程ヲ修了シタル者ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二條 左ニ掲クル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 公權停止中ノ者

三 未成年者、禁治產者、準禁治產者、聾者、啞者及盲者

第三條 禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第四條 內務省ニ醫籍ヲ備ヘ醫師免許ニ關スル事項ヲ登錄ス

登錄スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 醫師ハ自ラ診察セスシテ診斷書、處方箋ヲ交付シ若ハ治療ヲ爲シハ又檢案セスシテ檢案書若ハ死産證書ヲ交付スルコトヲ得ス

第六條 醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年之間ヲ保存スヘシ

第七條 醫師ハ其ノ技能ヲ誇稱シテ虛偽ノ廣告ヲ爲シ又ハ秘密療法ヲ有スル旨ヲ廣告スルコトヲ得ス

第八條 醫師ハ醫師會ヲ設立スルコトヲ得

醫師會ニ關スル規程ハ內務大臣之ヲ定ム

第九條 醫師會ハ醫事衛生ニ關シ官廳ノ諮問ニ應シ又ハ建議ヲ爲スコトヲ得

第十條 醫師第二條第一號又ハ第三號ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖第二條第三號ノ原因止ミタルトキ又ハ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與フルコトアルヘシ

本條ノ處分ハ內務大臣之ヲ行フ但シ第二項及第三項後段ノ場合ニ於テハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトヲ要ス

第十一條 免許ヲ受ケスシテ醫業ヲ爲シタル者停止中醫業ヲ爲シタル者又ハ第五條、第六條、第七條若ハ第十三條第三項但書ニ違背シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十二條 本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 本法施行前ノ醫術開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

本法施行前第一條第一項第一號ニ該當セサル官立、府縣立醫學校ヲ卒業シタル者ニハ第一條第一項ノ資格ヲ有セサルモ免許ヲ與フルコトアルヘシ

本法施行前醫術假開業免狀ヲ得タル者ハ本法施行ノ後ト雖醫業ヲ爲スコトヲ得但シ免許地域外ニ診察所、治療所又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス

前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十四條 本法施行後八箇年之間ハ第一條第二項ノ規定ヲ適用セス醫術開業試験規則ニ依リ醫術開業試験ヲ舉行ス

前項ノ試験ニ合格シタル者ハ第一條第一項ノ資格ヲ有スル者ト看做ス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、議長ガ特別委員ヲ指名イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八ニ移リマス、質屋取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

右本院提出案及送付候也

明治三十九年三月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長杉田定一

質屋取締法中左ノ通改正ス

第十六條中「警察官」ノ下ニ「ハ占有者ノ承諾ヲ得又ハ檢事ノ指揮ヲ受ケテ」ヲ加フ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第十九ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ニ御任セニナリマスカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十、蠶病豫防法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

蠶病豫防法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年三月二十日

右特別委員副委員長

千坂 高雅

貴族院議長公爵德川家達殿

〔千坂高雅君演壇ニ登ル〕

○千坂高雅君 此案ノ委員長ハ松平侯爵ガ委員長デゴザイマシタ、然ルニ御病氣デ御不參デアリマシタデ、副委員長ノ私ヨリ委員ノ決定ノ概略ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ去ル二十日ニ委員長副委員長ヲ選舉シタ外ニ二十日ニ開イタノデゴザイマス、然ルニ此度ノ委員ニハ昨年此法案ノ制定ニナッタ時ノ委員モ多數加ハツテ居ルノデゴザイマス、實ハ是ハ衆議院提出デゴザイマシテ、又法案ハト言ヘバ昨年ノ制定デ漸ク一年ノ經驗シカ出來ナイト云フ案デゴザイマス、段々ニ質問モ致シテ見、マスルニ、此法制定以來全國ニ效用ヲ及ボシタルコトハ明ニ見エルノデゴザイマス、實ハ昨年ノ委員會ニ於キマシテ

モ、法ニ於テハ宜シイガ何分ドウモ戰爭最中ニ國庫金ト云ヒ地方稅ト云ヒ人民ノ手數料ト云ヒ澤山ニ金ガ掛ラウト云フ心配カラ色々喧マシイ議論ノアッタノデゴザイマス、既ニ委員會ニモ谷子爵ヲ始メ其他ノ傍聽ノ諸君モゴザイマシテ、色々質疑モアリ、或ハ議ヲ發セラレタノハ多ク此經費ノ點デアルノデゴザイマス、實ハ法ニ於テハ誠ニ宜シイ法デゴザイマス、加之一年ノ經驗デモ明ニ此各地ノ養蠶所ノ繭ニ蛆ガ出來ヌ、蛆ガ出來ナイト云フコトハ著シク其效驗ノ顯ハレタコトハ當業者モ衆議院ノ方デモ、當局者モ是ハ明言シテ居ラレルノデアリマス、シテ見ルト此上ハ制定ノトキ費用ノ掛ルコトヲ實ハ厭ウタノデゴザイマシテ、斯ウ云フ法ヲ立テラレ、ニハ多ク國庫ヨリ金ヲ出シテ獎勵スベキモノデアアル、所デ政府ノ出サレタ金ト云フモノハ僅ニ三十八年度ノ金ハ十万六千圓、ソレカラ地方稅ノ金ト云フモノハ四十五萬圓、ソレカラ人民ノ方ノ側ニ於キマシテハ蠶種取締ノ時ニハ僅カナ金デゴザイマシタガ、是ハ矢張り心配シタ如ク蠶種取締ヨリハ倍額カ、ツテ居リマス、是ハ手數料デゴザイマス、加之其外ニ此豫防法ヲヤリマスルニ付テハ或ハ顯微鏡或ハ藥種、種々雜多ナ費用ヲ要シマシテ、其費用ノ概略ガマダハッキリ分ラヌガ、政府ノ方ノ側デ想像サレタル費用ハゴザイマスルケレドモ、今日人民ノ方ノ「〔聽取シ難シ〕」承ル費用ヨリハ少ク見テ置カレルノデアリマス、ソレデ是ハ大分、人民即チ事業家モ今日ハ此法案ヲ惡イト言フコトハ出來ナイ、誠ニ宜シイ、唯此費用ノ掛ル一點ニ於テハ困難デアアル、斯ウ云フ思ハクデゴザイマス、而シテ衆議院ノ方ハ大多數デ是ハ建議ニナリ、大多數決定イタシタ案デゴザイマスルガ、國庫カラ僅ニ二十萬ソコノ金ヲ出シ、或ハ地方稅カラモ僅ニ四十五萬圓、人民ノ負擔ハ随分重ク見エマス、之ヲ普及シテ獎勵シテ行ク曉ニハ尙又費用ハ是ヨリ掛ラウト想像サレルノデス、而シテ衆議院ノソレ「此事業家ト交渉シタモノト見エテ其地方ハ僅ニ此手數料ダケ十萬内外ノ金ガアレバ宜イト云フ希望ト見エマス、委員會デモソレヲ當局者ニ聞イテ見タラ、果シテ先ヅ其位ノ金デ宜シイ、斯ウ云フヤウナ譯デゴザイマス、御承知モアル通り此十八條ト云フモノハ即チ地方負擔ノ費用ノ制定デゴザイマスルシ、ソレカラ十九條ノ削除ニナツテ居ルノハ、檢査ニ關シテ手數料ヲ徵收スルコトヲ得ルトゴザイマシテ、誠ニ地方官ノ手心デハ手數料ヲ取ラヌトモ宜イノデゴザイマス、サリナガラドウモ此案ノ制定ノ際カラシテ内務省デハ大變ニ本員等ト同心配ヲシタノデス、ドノ位非費用ガ掛カル、又人

民モドノ位非苦ム、實ハ滿腔ノ精神ヲ以テ賛成ハサレヌト私ハ承ッテ居ル、然ルニ衆議院ノ案デハアレ、此案ハ誠ニ結構ナ案デゴザイマシテ僅ニ四十五万ノ半額ト云ヘバ先ヅ二十二万五千圓、サリナガラ「以內」トアリマスカラ其以下デモ宜イノデ、御承知モアル通り、我國ハ此養蠶：生絲、實ハ輸物ノ至ッテノ第一位ヲ占メテ居ルモノデゴザイマス、其輸出物ニナル生絲、其金ノ爲ニ其養蠶ノ仕方、傳染病ヲ豫防シテ效果ガアルト云フコトヲ見タナラバ、僅カ十萬圓ノ金ヲ以テマア二百萬モ五百萬モノ國益ヲ起スト云ウテ決シテ誣言デナイコトト信ジマス、右ニ依ッテ委員會ニ於テハ何レモ熱心ニ滿場一致デ此案ヲ：衆議院ヲ賛成イタシタ次第デゴザイマス、依ッテ是ハ誠ニ簡單ナ案デゴザイマスカラ、ドウゾ諸君ニ於テモ御同感ト私ハ感ジマスカラ、讀會省略デ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伊澤修二君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○三宅秀君 讀會省略賛成

○男爵松平正直君 讀會省略賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○男爵千秋季隆君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

○田中芳男君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ請願ノ會議ニ移リマスガ、意見書案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十一、宅地地價修正ノ請願、會議
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

宅地地價修正ノ件

北海道後志國小樽區色内町平民海運業板谷宮吉外百十四名呈出
右ノ請願ハ從來本道ノ地租賦課率ハ内地ノ地價百分ノ二半ナルニ比シ之ヲ百分ノ一トナシタル所以ハ本道ノ拓殖上移民ノ招徠ト事業ノ經營トニ便ナラシムカ爲ナリシナリ然ルニ今ヤ市街宅地地價修正案ニ於テ本道ノ市街宅地ニ對シ内地ト同一率ノ地租ヲ賦課セムトセリ若之ニ決スルニ至ラムカ將ニ發達ノ機運ニ向ヒツツアル請願人等ノ地方ハ自然萎靡凋落スヘキヲ以テ同案中ニ於テモ本道宅地地租賦課率ハ從來ノ如ク内地賦課率ノ二分ノ一乃至三分ノ一ト云ヘルカ如キ特例ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 此請願ハ採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十二ノ請願

意見書案

軍人恩給法改正ノ件

山形縣西田川郡鶴岡町士族印刷業岸重節外二名呈出
右ノ請願ハ請願人等ハ明治十年鹿兒島ノ役ニ從軍シ肥薩各地ニ轉戰中或ハ熊本籠城中ニ受傷シタル爲同十二年傷項策定ノ上傷痍ニ因リ免官セラレ同九年陸軍恩給令ニ依リ終身恩給ノ下賜ヲ受ケ居ルモノナリ然ルニ其ノ後政

府ハ同令改正ノ都度該支給額ヲ増加セラレタルニ拘ラス請願人等ハ依然舊令ノ支給額ヲ受ルニ過キサルハ頗ル不公平ナルヲ以テ其ノ恩給支給額ヲ明治二十三年六月法律第四十五號軍人恩給法傷痍恩給支給額ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 是ハ委員長ノ請求ニ依リマシテ延期ノコトニ致シマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第二十三ヨリ第三十三マデ東ネテ問題ニ供シマス

意見書案

新莊酒田間鐵道速成ノ件

山形縣東田川郡横山村村長本間多右衛門外二十七名呈出

同縣飽海郡酒田町士族農池田藤八郎外二百九十三名呈出

右ノ請願ハ新莊酒田間ノ鐵道敷設ハ地方産業ノ發達ト人文ノ開進トヲ促スノミナラス早晚敷設ノ計畫ヲ見ルヘキ越羽沿岸鐵道ト奥羽南北線トノ連絡ヲ保ツヘキ樞要ノ線路ナルヲ以テ戰後經營ノ一トシテ該線路ヲ鐵道敷設法中ノ第一期線ニ線上ケ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

奥羽南線鐵道分岐線急設ノ件

酒田商業會議所會頭白崎善吉呈出
右ノ請願ハ奥羽本線ヨリ分岐シテ山形縣酒田ニ至ル鐵道敷設ハ地方産業ノ發達ト人文ノ開進トヲ促スノミナラス早晚敷設ヲ見ルヘキ越羽沿岸鐵道ト奥羽線トノ連絡ヲ保ツヘキ樞要ノ線路ニシテ且該分岐線ノ速成ハ越羽沿岸鐵道ノ工事上ニモ至大ノ便宜ヲ與フルモノナルヲ以テ之ヲ鐵道敷設法中ノ第一期線ニ線上ケ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

租稅整理ニ關スル件

博多商業會議所會頭太田清藏呈出

右ノ請願ハ戰後ノ經營上國民經濟ノ發展ヲ計ル爲營業稅法中ノ第十二條及取引所稅織物稅ハ課稅ノ煩苛ニ失スルヲ以テ之ヲ適當ニ改正シ尙小切手印紙稅及米穀輸入稅ハ商工業ノ發達利益ヲ阻害スルヲ以テ其ノ全部ヲ廢止シテ租稅ノ整理ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道ト清國重要港間命令定期航路開始ノ件

函館商業會議所會頭岡本忠藏呈出

右ノ請願ハ當港上海間ニ於ケル命令定期航路ノ開始ハ本道對清貿易ノ發展上最大急務トシテ請願人等ハ夙ニ當局者ニ對シ請願セシコトアリ今ヤ露國トノ媾和條約締結セラレタル爲對清貿易ハ一層ノ切實ヲ加フルト共ニ上海及北清航路ノ開始ハ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルニ至レルヲ以テ速ニ本航

路ノ調査ヲ遂ケ確實ナル海運業者ニ命令シ之ニ對シテ他ノ航路同様相當ノ補助ヲ支給シ以テ該定期航海ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

京都ヨリ舞鶴ニ達スル鐵道急敷ノ件

京都府加佐郡舞鶴町平民質商土井市兵衛外二百十七名呈出
右ノ請願ハ當舞鶴ハ北海岸ニ於ケル最良ノ港灣ニシテ南ハ大阪神戸ト相背腹シ北ハ露領浦鹽斯德ト相對シ内ニ舞鶴鎮守府ノ設置アリ外ニ西比利亞鐵道ノ海上連絡アリテ實ニ内外交通ノ要衝タルニ拘ラス京都舞鶴間ノ鐵道完成セサル爲現時ニ於テハ東京及京都ニ達スルニハ數十里ヲ迂回セル線路ヲ執ラサルヘカラサル不便アルニ依リ園部綾部間ノ鐵道ヲ速成シ京都鐵道ニ依リテ東海道幹線ニ連絡セシメ一ハ國防設備ノ闕點ヲ補ヒ一ハ經濟ノ發達ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

不動産登記法改正ノ件

群馬縣碓氷郡安中町株式會社安中銀行取締役頭取柳澤庄平外四名呈出
右ノ請願ハ不動産登記法第三十五條ノ規定ニ依ルトキハ商事會社カ其ノ營業上不動産ヲ擔保トシテ金錢貸付ヲナス爲登記ヲ申請スル場合ニハ每件法定代理人タル權限ヲ證スル爲商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ提出セサルヘカラス然ルニ營業上一日數十乃至數百件ノ取引アルトキハ當業者ノ迷惑尠ナカラサルヲ以テ第三十五條中ニ同法施行細則ト同一趣旨ノ例外規定ヲ設ケ

ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

水道工事費國庫補助ノ件

秋田市參事會秋田市長野口能毅呈出
右ノ請願ハ本市水道ハ明治三十六年起工シ現ニ進工中ニアリ然ルニ企業當時ニ比シ材料ノ昂騰鐵管敷設地區ノ増大ニヨリ工費ニ多額ノ追加ヲ來セリ而シテ一方市政ハ公共ノ施設ニ要スル支出益々多端ヲ加フル狀態ナルカ爲ニ工費増加ノ填補市債償還ニ充ツヘキノ財源ナク殆ムト其ノ目的ヲ達スル能ハサルノ狀態ニ陥レリ故ニ此ノ際國庫ヨリ該工事ノ不足額及市債償還財源ノ闕陥ヲ補填スヘキ資金トシテ從來各市水道事業ニ補助セラレタル例ニ依リ總工事費ノ約四分ノ一ノ補助ヲ仰キタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

尋常小學校教員給料國庫補助ノ件

福島縣田村郡三春町町長佐久間昌熾外三十名呈出
右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ明治三十五年米作ノ不良ニ次クニ昨三十八年ノ大凶歉ヲ以テシ民力ノ凋弊其ノ極ニ達シ到底町村教育費ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ義務教育ニ屬スル費用ニシテ其ノ大部ヲ占ムル尋常科教員ノ給料ヲ舉ケテ國庫ノ補助ニ仰キタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

高等工業專門學校設立ノ件

山形縣米澤市市長二村忠誠外十一名呈出

右ノ請願ハ當山形縣米澤ノ地ハ夙ニ染織ノ工業大ニ發達シ其技術ニ練熟スルコトモ亦深ク從テ之ニ關スル工場ノ設備大ニ見ルヘキモノアリテ學理ト實地トヲ併用スルノ便アリ且學校設立ノ位置トシテモ衛生、風紀、交通ノ要素ヲ具備セリ然ルニ現時設置ノ學校ハ僅ニ中學程度ノモノニ過キスシテ今後民力發展シ海外輸出品ノ發達意匠ノ嶄新等大ニ面目ヲ一新スヘキ時機ニ際シ學科程度ノ之ニ伴ハサルハ東北地方殖産ノ發達ヲ沮害スルヲ以テ當地ニ染織二科ノ高等工業專門學校ヲ設立セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

小樽港露領浦鹽斯德港間直航命令定期船開始ノ件

小樽商業會議所會頭添田弼呈出

右ノ請願ハ小樽露領浦鹽斯德間ノ輸出貿易ノ振ハサルハ主トシテ日本海命令定期航路迂回ノ爲時日ノ延長ト之ニ伴フ運賃ノ増額等ニ基因セリ然ルニ對岸露領ニ對シ本道物産ノ輸出擴張ヲ圖リ大ニ之ヲ發展セシムルハ刻下ノ急務ナルヲ以テ當港浦港間ニ新ニ命令定期航路ヲ開始スルカ若ハ日本海命令定期船ノ航路ヲ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

商船學校増設ニ關スル件

橫濱市青木町平民海運業西川莊三呈出

右ノ請願ハ現今増加セル船舶ニ對比シ高等海員ハ其ノ數不足セルニ依リ之ヲ養成セサルニ於テハ需用供給ノ數ニ於テ當業者ノ蒙ルヘキ損害及危險甚大ナルヲ以テ海運ノ發展ニ鑑ミ速ニ商船學校ヲ増設シ優秀ナル多數高等海員ノ養成ニ努メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○田中芳男君 先刻チヨット委員長ニ御尋シテ置キマシタ儘ニナッテ居リマシガ、此二十三、二十四、二十七ノ如キモノハ既ニ法律ヲ制定サレタル所ノ鐵道ノコトヲ、又請願書デ出スト云フコトハ、チット手數ノヤウニ考ヘマシガ、矢張り先刻ノ御説ノ通り、控ヘルニハ及バヌ無駄デモ出サウト云フ御考デアリマスカ、ソコヲ伺ヒマス

○三宅秀君 田中君ノ御問ニ御答イタシマスガ、是ハ法律デ此間通過イタシマシタコトハ北海岸ノ方ノ、詰リ沿岸線デアリマシテ、海岸ト併行シテ走ル所ノ線路デアリマス、然ルニ又二十三、二十四ト云フモノハ殆ド横斷線ト云フ位ナモノデ、新莊カラ海ノ方ヘ即チ山手ノ方カラ海ノ方ヘ聯絡スル所ノ線ト認メマシテゴザイマスルカラ、ソレ故ニ二十三ト二十四ハ法律デ通過シテ居リマセヌカラ、此所ヘ請願ヲ出シマシタ譯デゴザイマス、又二十四ノ奥羽南線鐵道分岐線急設ノ請願ハ、文字ガ變ッテ居リマスガ、恐ラクハ請願者ノ趣旨ハ新莊酒田間ノコトデアラウト思ヒマス、ケレドモ請願者ノ意思ヲ突止メテ譯ニハ參リマセヌケレドモ、同ジモノトハ考ヘマシタケレドモ、新莊酒田間速成ノ請願ト云フノト肩ヲ並ベテ二十三、二十四ト並ベタ譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ二十七ノ京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道ハ園部ト綾部ノ間僅カバカリノ所ノ鐵道ガ今日出來テ居リマセヌカラ、ソレガ速ニ出來ルヤウニシテ欲シイト云フ請願デゴザイマスカラ、是モ先頃通過イタシマシタ法律ノ方カラハ漏レテ居リマスカラ、是ニ出シマシタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今問題ニ供シマシタ請願、全部採擇ト決シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、三宅君ニ伺ヒマスガ先刻演壇デ御述べニナリマシタ請願ノ追加ハ今ガ時機デハナイカト考ヘマスガ：

○三宅秀君 此第三十四ノ日程ニ上ボッテ居リマスル渡良瀬川沿岸地方特別地價修正ノ請願ト云フモノト全ク同ジ請願ガ此前ノ會議ノトキニ延期ニナッテ居リマシテ、全ク同ジ事柄デゴザイマシテ、是ハ既ニ法律モ制定ニナッテ居リマスル、法律通りニ修正ヲ願ヒタイト云フ請願デアリマス、今日同問題ノ出マシタノヲ機ト致シマシテ、茲ニ前ノ延期ニナッテ居ルモノガ問題ニナラムコトヲ希望イタシマス、日程ニ追加イタシマスルノガ正式デゴザイマスカ、或ハ日程ノ中ヘ同ジ問題デゴザイマスカラ御差加ヘテ願ッテ宜イノデアリマスカ、ツイ其邊ハ心得マセヌガ、詰リ前ニ延期ニナッテ居リマスルモノヲ此所デ御會議ヲ願ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 三宅君ニ申シマスガ、是ハ矢張り議事日程ノ變更ノ方ガ宜カラウト思ヒマス、サウ致シマルト賛成者ヲ要シマスカラ、ソレダケヲ申上ゲテ置キマス

○三宅秀君 唯今述ベマシタ如ク、又先刻諸君ニ希望イタシテ置キマシタ如ク、茲デ日程變更追加ノ動議ヲ起シマスカラ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵南岩倉具威君 賛成

〔其他〕賛成〔ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 三宅君ノ議事日程變更ノ動議ニ南岩倉男爵ノ賛成ガゴザイマシタカラ採決イタシマス、日程變更ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今三宅君ノ御申述ニナリマシタ請願、竝ニ第三十四ヨリ第三十八マデヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

意見書案

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正ノ件

群馬縣邑樂郡六鄉村平民農日下田廣吉外五十六名呈出

右ノ請願ハ當群馬縣邑樂郡六鄉村ハ同シク鑛毒被害地ナルニ拘ハラヌ明治三十七年法律第十六號ニ據ル特別地價修正ニ於テ其ノ一部分ヲ除ク外他ハ皆其ノ恩典ニ漏レタルヲ以テ實地調査ノ上隣接ノ町村同様に地價ヲ修正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

織物消費稅改正ノ件

京都西陣織物同業組合組長鎌田清兵衛外四名呈出

右ノ請願ハ織物消費稅ハ他ノ非常特別稅ト共ニ戰時ニ於テ已ムヲ得サル事情ノ下ニ制定セラレタル稅法ナルニ依リ其ノ負擔ヲ忍ビシト雖本來賦課ノ方法其ノ宜シキヲ得スシテ實際製産ヲ障害シ輸出ヲ拘束スル等國家ノ生産力ヲ阻碍スルコト甚シキヲ以テ速ニ之カ改良ノ法案ヲ發セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

官設鐵道鹿兒島線未成線急設ノ件

博多商業會議所會頭太田清藏呈出

右ノ請願ハ官設鐵道鹿兒島線中未成ニ屬スル吉松八代間僅々五十二哩ノ工事繰延ハ刻下ノ時勢ニ鑑ミ軍事交通及經濟上ノ不利極メテ大ナルヲ以テ宜シク該線ノ利害ヲ審按セラレ之カ急設ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

鑛毒被害地地價修正ニ對シ再調査ノ件

群馬縣新田郡強戸村平民農大谷八五郎外六十八名呈出

同縣同郡同村平民農柳錠七郎外十一名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ鑛毒被害地ナルノ故ヲ以テ明治三十七年法律第十六號ニ據リ地價修正ノ等級ヲ八等(二割五分)九等(一割)ノ二種ニ區分シテ之ヲ低減セラレタリ然ルニ下流ニ在テ被害ノ程度比較的輕少ナル地方ニ於テ二等(六割)ノ低減アリタルニ比スレハ本村ノ如キハ其ノ低減程度尙其ノ當ヲ得サルモノアルニ依リ再調査ノ上地價ヲ修正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

益鳥保護ノ件

茨城縣北相馬郡高井村農會長中久木周平外四十二名呈出

右ノ請願ハ近時害蟲増殖シテ農作物ヲ害スルコト夥シク請願人等ハ農事ノ時間ヲ割キテ種々カ撲滅ニ努ムルト雖其ノ功ナク毎歲收穫上二三分乃至五分ノ損害ヲ被ルコトアリ蓋益鳥ノ害蟲ヲ驅除シ農作物ニ利益ヲ與ルコトノ大ナルハ何人モ爭ハサルトコロナルニ依リ此ノ際益鳥ヲ保護シ其ノ蕃殖ヲ計リ彼等ヲ利用シテ害蟲ヲ驅除セシムル爲狩獵規則ノ勵行ヲ望ムトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十九年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵德川家達君) 總テ採擇ト決シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

立竹木ニ關スル法律案特別委員

子爵酒井 忠亮君 名村 泰藏君 男爵菊池 大麓君

山 脇 玄君 男爵若王子 文健君 原 保太郎君

都筑 馨六君 富井 政章君 高木 豐三君

紙幣類似證券取締法案特別委員

子爵本莊 壽巨君 子爵黒田 和志君 兒島 惟謙君

村 田 保君 關 義 臣君 男爵平野 長祥君

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案特別委員

伯爵柳原 義光君 子爵京極 高德君 淺田 德則君

小 牧 昌業君 男爵杉溪 言長君 男爵千秋 季隆君

岩 村 兼善君 澤 原 俊雄君 道源 權治君

官國幣社經費ニ關スル法律案特別委員

子爵藤井 行徳君 子爵牧野 貞寧君 宮本 小一君

男爵赤松 則良君 男爵沖 守 固君 男爵金子 有卿君

男爵小 原 適君 秋 月 新太郎君 橋本 雄造君

農工銀行補助法中改正法律案特別委員

子爵鳥居 忠文君 子爵新莊 直陳君 男爵淺野 守夫君

男爵本多 政以君 中島 永元君 絞島 武之助君

下條 正雄君 下村辰右衛門君 伊藤 長次郎君

債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案特別委員

子爵大田原 一清君 子爵本多 忠敬君 古澤 滋君
男爵本多 副元君 男爵河邊 博長君 馬屋原二郎君
兒玉 淳一郎君 田島 竹之助君 辰巳 楷太郎君

醫師法案特別委員

伯爵廣澤 金次郎君 子爵堤 功長君 男爵石黒 忠惠君
男爵實吉 安純君 男爵二條 正麿君 西村 亮吉君
三宅 秀君 大澤 謙二君 山口 玄洞君

質屋取締法中改正法律案特別委員

伯爵室町 公大君 子爵野宮 定毅君 前田 正名君
德久 恆範君 男爵南 光利君 谷森 眞男君
馬屋原 彰君 宮島 誠一郎君 日高 榮三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第追テ御通知ニ及ビマス、
本日ハ散會

午前十一時五十一分散會